



証券コード：2588

# 2023年3月期（第17期）第1四半期 決算説明補足資料

2022年8月10日（水）

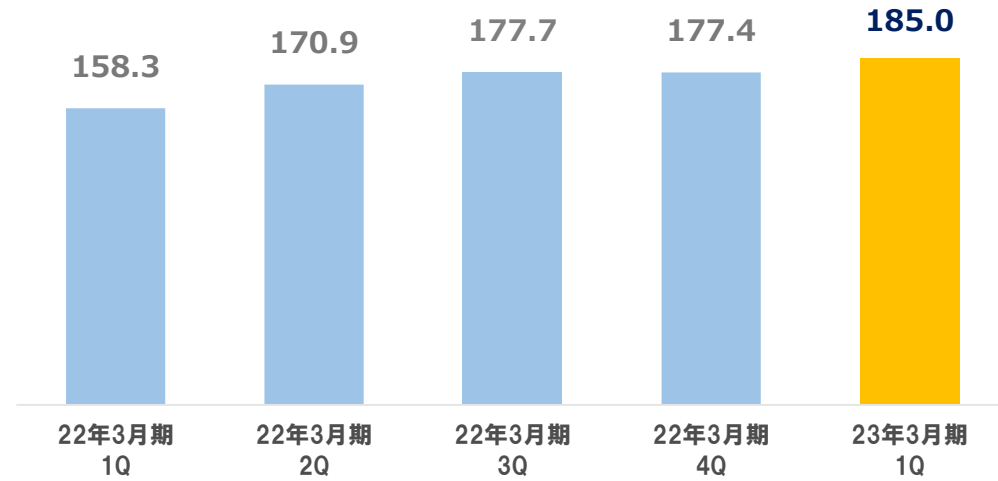


PREMIUM WATER HOLDINGS

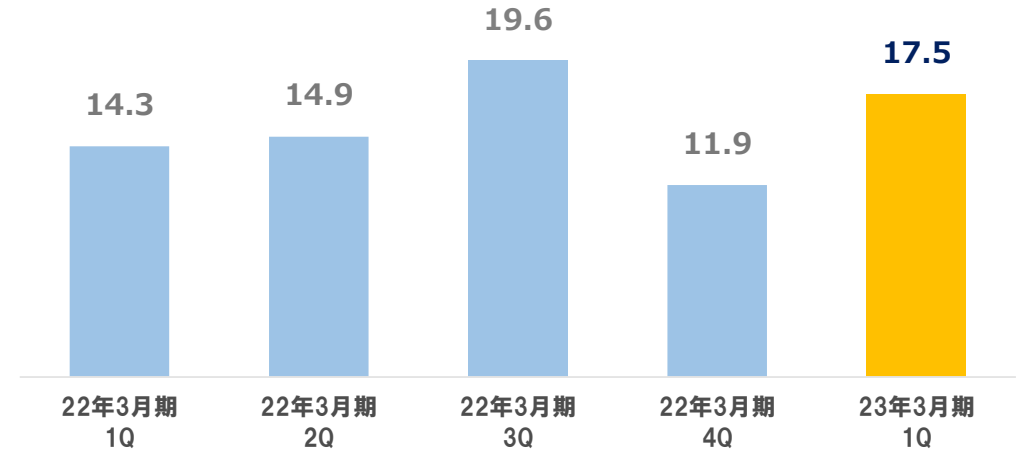
# 業績堅調

(単位：億円)

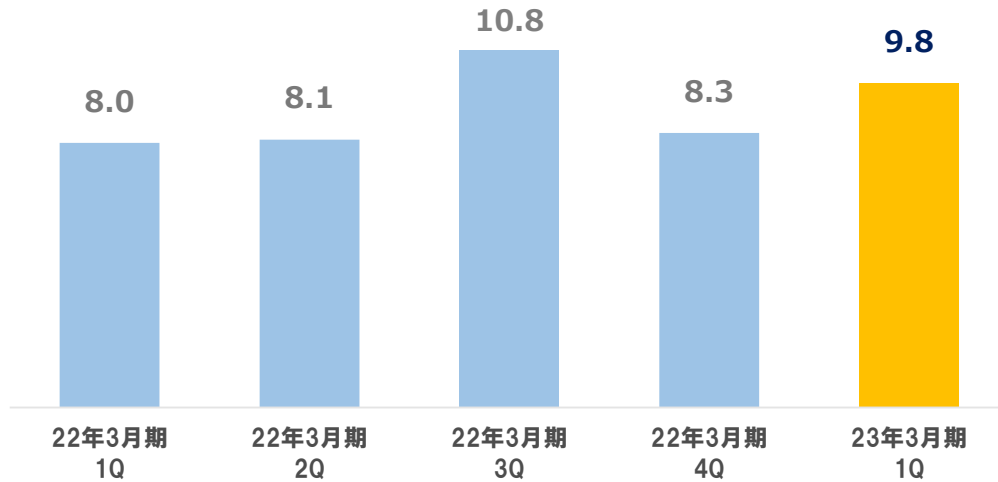
## ①売上収益



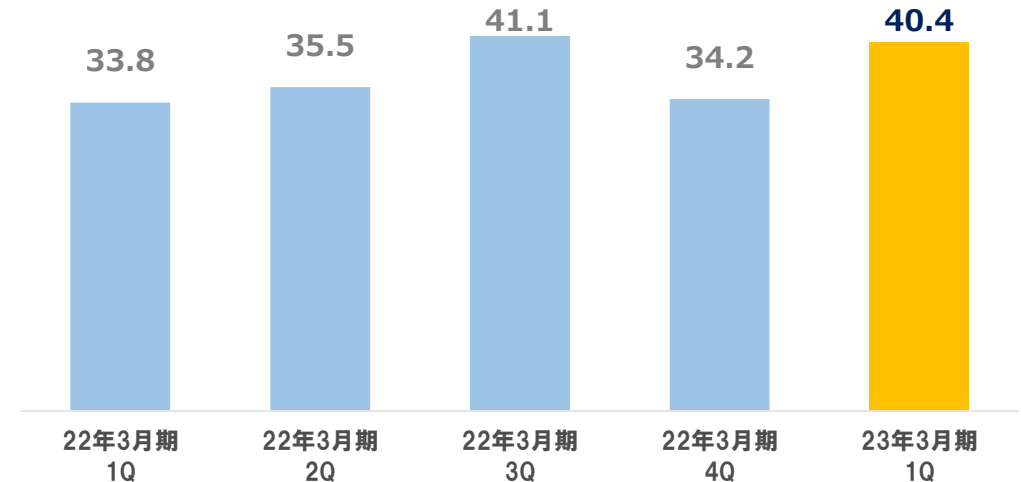
## ②営業利益



## ③当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益)



## ④EBITDA (営業利益+減価償却費)



## 第1四半期トピックス

- 安定した顧客獲得の積み上げにより、売上収益及び利益は順調に推移し、通期業績予想に対する第1四半期の進捗は堅調。
- 2016年の経営統合から5年目となる事業年度を順調に迎えることができた一つの節目として、前期末（2022年3月31日）を基準日とした、初の配当を実施。
- 2022年4月4日の東京証券取引所の新市場区分見直しにより、スタンダード市場に移行。

# 売上原価、販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	2022年3月期								2023年3月期	
	1 Q		2 Q		3 Q		4 Q		1 Q	
		%		%		%		%		%
売上収益	158.3	100.0	170.9	100.0	177.7	100.0	177.4	100.0	185.0	100.0
売上原価	23.3	14.7	24.8	14.6	27.3	15.4	28.2	15.9	27.6	15.0
売上総利益	134.9	85.3	146.0	85.4	150.4	84.6	149.2	84.1	157.3	85.0
販売費及び一般管理費等	120.6	76.2	131.2	76.8	130.9	73.7	137.3	77.4	139.9	75.6
営業利益	14.3	9.1	14.9	8.8	19.6	11.1	11.9	6.7	17.5	9.5

※割合は売上収益対比

# 営業外損益

(単位：億円)

	2022年3月期				2023年3月期
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q
営業利益	14.3	14.9	19.6	11.9	17.5
金融収益+金融費用	△1.6	△1.7	△1.6	△1.6	△1.7
持分法による投資損益	0.0	0.0	△0.0	0.2	△0.1
税引前四半期利益	12.7	13.2	18.0	10.5	15.5
法人所得税費用	4.7	5.1	7.1	2.2	5.7
非支配持分	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	8.0	8.1	10.8	8.3	9.8

# 業績予想に対する実績

(単位：億円)

	23年3月期 通期	23年3月期 1Q累計	
	業績予想	実績	進捗率
売上収益	750.0	185.0	24.7%
営業利益	70.0	17.5	25.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	40.0	9.8	24.5%

# 財政状態

(単位：億円)

	2022年3月期		2023年3月期 第1四半期連結会計期間		
		構成比		構成比	前年度比
流動資産	323.5	44.3%	<b>318.1</b>	43.3%	98.3%
非流動資産	407.3	55.7%	<b>416.7</b>	56.7%	102.3%
資産	730.8	100.0%	<b>734.9</b>	100.0%	100.6%
流動負債	207.5	28.4%	<b>196.6</b>	26.8%	94.7%
非流動負債	380.2	52.0%	<b>393.4</b>	53.5%	103.5%
負債	587.8	80.4%	<b>590.0</b>	80.3%	100.4%
資本	142.9	19.6%	<b>144.8</b>	19.7%	101.3%
有利子負債	462.3	63.3%	<b>475.8</b>	64.7%	102.9%
流動比率	155.8%	—	<b>161.8%</b>	—	—
親会社所有者帰属持分比率	19.5%	—	<b>19.7%</b>	—	—

# 連結キャッシュフロー

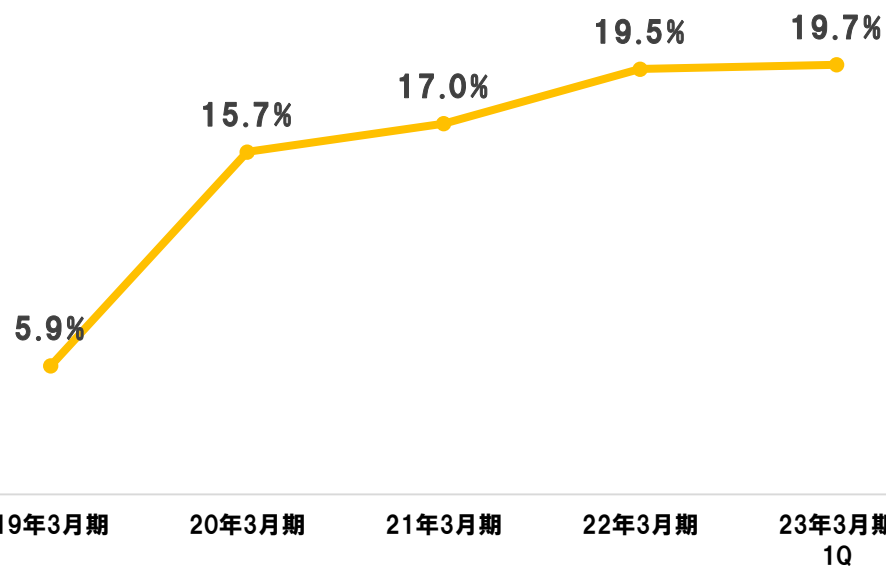
(単位：億円)

	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q
営業活動による キャッシュ・フロー	8.6	△2.5	19.0
投資活動による キャッシュ・フロー	△25.7	△11.0	△1.5
フリー・ キャッシュ・フロー	△17.0	△13.6	17.4
財務活動による キャッシュ・フロー	△19.7	△22.7	△24.6
現金及び現金同等物の 期末残高	65.6	132.2	196.2

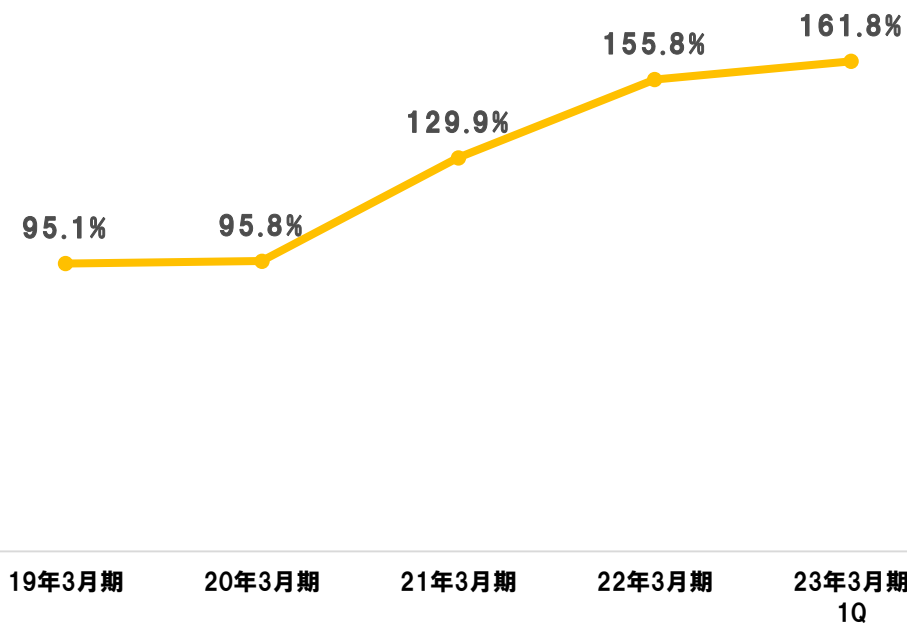
※フリー・キャッシュ・フローは「営業CF－投資CF」にて算出



## ①自己資本比率（親会社所有者帰属持分比率）※



## ②流動比率



※ A種優先株式（2017年9月28日発行）はIFRSでは金融負債に分類するため、2019年3月期末では負債へ計上。しかし、2019年6月の定時株主総会の決議及びA種優先株式のみなし決議による本優先株式の内容変更に伴い、負債から資本へ組み換えを実施。そのため、19年3月期と20年3月期の自己資本比率に大幅な変化が発生。

# プレミアムウォーターホールディングス SDGs宣言



プレミアムウォーターホールディングス株式会社では「水を守り、人を育むこと」を掲げ、事業活動を通じたさまざまな社会課題に取り組み、私たちに関わる全ての人々が豊かになることを目指します。そして社会課題の解決と経済発展の両立を図ることによって、持続可能な社会の実現に貢献していくことを宣言いたします。

SDGs特設ページ：

<https://premiumwater-hd.co.jp/sdgs/>

# 当社のSDGsへの取り組み②

## こども食堂へのお米寄付



貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社富士吉田で収穫したお米を寄贈しました。

## 小学校での出張授業



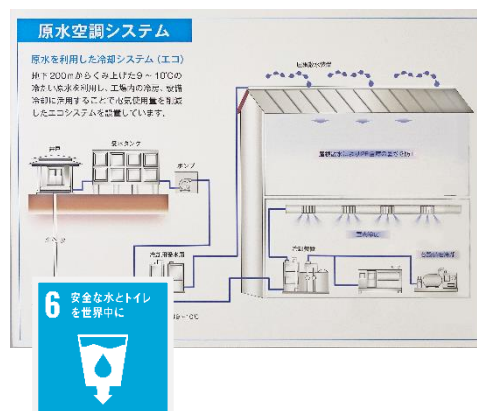
小学校から行われるキャリア教育の一環として出張授業を実施しています。天然水を取り扱う企業だからこそ伝えられる「お水や自然の大切さ」と「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、自分たちにできることは何か」を子どもたちに自由な発想で考えていただきます。

## 災害時の支援・復興サポート



山梨県富士吉田市、兵庫県朝来市と「災害時における飲料水の供給に関する協定」を締結しており、災害発生時に被災者に飲料水の提供が必要となった場合、無償供給およびサーバーの無償貸与をおこないます。他にも、西日本豪雨による被災地支援品の寄贈、熊本地震における義援金寄付、熊本復興支援イベントの開催等も行っています。

## 地下水の利用



富士吉田工場では、地下水200mからくみ上げた9度～10度の冷たい原水を利用し、工場内の冷房・設備冷却に活用することで電気使用料を削減したエコシステムを設置しています。

# 当社のSDGsへの取り組み③

## 安心安全のナチュラルミネラルウォーター



同社グループの製品（ナチュラルミネラルウォーター）は、一般の公的基準よりも厳しい自社基準を設け、1日に10数回に及ぶ自主的な検査（水の微生物検査、理化学検査、官能検査）と定期的な放射線物質の検査を実施しています。また、赤ちゃんのからだにもやさしい「軟水」を提供しています。

## PETボトルの軽量化



PETボトルの構造を変更し、従来より20%軽量化（プラスチック使用量削減）したボトルに順次入れ替え、2020年4月現在全水源の97%で軽量化を実施済みです。

## 公平な人事制度・ジェンダー平等への取り組み



人事考課での公平性を確保するために、人事ポリシー・考課制度を再整備しています。

また、産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育休中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。他にも、週1日程度、在宅勤務ができる制度を試行的に導入しています。

## 森林整備活動（西桂地区）



地域の水資源育成に向け、水源涵養機能の高い森が良い水資源を生み豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区において健全な森を作る間伐等の整備を行っています。



# 本資料のお取り扱い上の注意

## 1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

## 2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

## 3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

### <お問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス IR担当

メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp



PREMIUM WATER  
HOLDINGS